

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			動きのある活動と静かな活動が同時にできるように仕切り等で工夫している。
	2	職員配置数は適切であるか	6			基本数＋加配を配置している。
	3	事業所の設備等については、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2		完全バリアフリーではないが、車いすの方にも対応できる環境になっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			毎日のミーティングで意識している。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			アンケートの結果を踏まえて業務改善を実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	2	今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			外部の研修に積極的に参加している。又事業所内でも定期的に研修を開催している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			保護者の方・相談支援事業所と密に連絡をとってアセスメントを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			各事業所合同で活動会議を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			休日はイベント(クッキング・ピクニックなど)を多く計画している。季節に合った活動を工夫している。 又、年齢にあった活動内容も工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎日ミーティングにて確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			翌日のミーティングで振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			記録は休みのスタッフも目を通してから支援にあたるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したふさわしいものが参画しているか	6			主に児童発達支援管理責任者が出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			計画的な支援を行うために連携を意識している。必要に応じて学校へ出向き会議にも参加している。
	22	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				現在、該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3		相談支援事業所からの情報はいただいている。現在低学年の児童が少なく該当者なし。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか				現在、該当なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		充分とは言えないが必要に応じて各関係機関に助言をいただいている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	1	児童クラブなどの交流はない。公園や外部の施設への外出が多いため一緒に遊んだり交流の機会はある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			連絡ノートや送迎時のご家族との会話を通じてコミュニケーションを図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	1		研修は行っているが、実際にはできていない部分もあり今後の課題である。

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			保適切な対応と職員間の共有を心がけている。。
	32	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	3	これまではコロナの影響もあり開催ができなかった。今後、行事を通じて参加を呼びかけ交流の場を作りたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			スタッフ間で共有し迅速な対応を心がける。
	34	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			お便りやホームページなどで子供たちの日々の様子を伝えている。
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			細心の注意を行っている。職員に周知徹底を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			近隣の清掃活動などを定期的に行っている。ご近所の方も声を掛けていただいて交流ができているが、今後もさらにすすめて行きたい。
非常時などの対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		3	3	今後周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			基本として月に1回の訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			定期的に研修を行っている。又外部の研修にも参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		6		現在該当者はいないが同意書は作成している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			保護者の方にアレルギーの有無を確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			記録をし会議の場で共有を行っている。